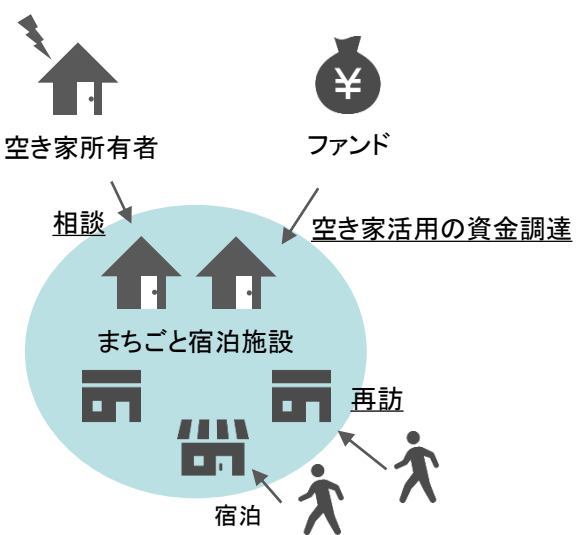


事業概要	空き家の流通と交流人口増加による空き家の活用促進を目的とし、以下の①～③に取り組む。 ①空き家相談窓口としての認知拡大 ②空き家活用の資金調達スキームの構築 ③まちごとホテル利用者のまちへの再訪促進
事業者情報	
団体名	SEKAI HOTEL株式会社
所在地	大阪府大阪市北区中崎2-5-18 中野ビル1階
設立時期	2014年11月26日
団体HP	https://www.sekaihotel.jp
活動地域	大阪府東大阪市
事業スキーム	 The diagram illustrates the business scheme. At the top left, an icon of a house with a lightning bolt represents '空き家所有者' (Vacant house owner). An arrow labeled '相談' (Consultation) points from this icon to a central blue circle. At the top right, an icon of a money bag with a yen symbol represents 'ファンド' (Fund). An arrow labeled '空き家活用の資金調達' (Fundraising for vacant house utilization) points from this icon to the same central blue circle. Inside the blue circle, there are two house icons labeled 'まちごと宿泊施設' (Neighborhood accommodation facility). Below the circle, there are three building icons. An arrow labeled '再訪' (Repeat visit) points from one building back to the circle. Another arrow labeled '宿泊' (Stay) points from a person icon to one of the buildings. The entire process is labeled '事業スキーム' (Business scheme) on the left.
取組内容及び成果	
①空き家相談窓口としての認知拡大 メディアでの実績もあり、近隣地域において認知度を獲得しているSEKAI HOTELだが、空き家利活用のノウハウを有していることへの認知度は低いため、空き家相談窓口としての認知度向上を目指した。	
②空き家活用の資金調達スキームの構築 株式会社エンジョイワークスと連携し、地域住民を含め広く資金を集めるために小口での資金調達スキームを構築した。 また、ファンドへの投資の土壌づくり、地域活性に興味を持つファン層への呼びかけを目的とし、SEKAI HOTELを認知している人に対して、興味関心を深めてもらうことを目的としたイベントを開催した。	
③まちごとホテル利用者のまちへの再訪促進 空き家問題の根本的原因ともいえる人口減少に対して、交流人口増加を狙った施策を、過去のSEKAI HOTEL利用者に向けて実施。	

空き家相談窓口としての認知拡大

メディアでの実績もあり、近隣地域において認知度を獲得しているSEKAI HOTELだが、空き家利活用のノウハウを有していることへの認知度は低いため、空き家相談窓口としての認知度向上を目指した。

試験的に、空き家問題に対してさまざまな解決策を提供できるという訴求内容でチラシを制作。SEKAI HOTELから半径800m範囲にチラシ1000枚を配布したが、反響数が0だったことを踏まえ、ターゲットを「空き家が身近にあるが、自分事化していない」人に絞ることで修正し、再度配布した。

2024年1月時点で3件の空き家相談を進めている。

まちごとホテル

SEKAI HOTEL

空き家の無料相談

空き家になる前に、あなたの家でできることは？

CASE 1

自宅の老朽化が気になる

床・壁の傷や汚れ、外壁のひび割れが目立つ、断熱やバリアフリーにしたいなど、多くはみられるものの範囲でも対応。

CASE 2

相続した家の管理が大変

実家を相続したけど、管理が手配、空き家の管理にまつわる相談も承っています。

CASE 3

空き家をどうすべきかわからない

売却や解体するにしても費用感がわからない、そもそもどうしたらいいかわからないといったお悩みも解決します。

CASE 4

自宅を継ぐ人がいない

売却や解体するにしても費用感がわからない、そもそもどうしたらいいかわからないといったお悩みも解決します。

自宅や両親の住まいは、いつまでも今のままではありません。突然の病気や変化が訪れた時に手遅れにならないよう、今から準備を始めることが重要です。

QRコード

お問い合わせ



CASE 1

使い道が決まっただけから考えればいいと思ってる

CASE 2

雨漏りを放置している

CASE 3

税金だけ払っている

このように
なってませんか？

空き家が

SEKAI HOTEL

商店街まるごとホテル

SEKAI HOTEL による
住まいの修繕・空き家の
無料相談実施中

さまざまな空き家を活用してきた SEKAI HOTEL が、
住まいのお悩みを解決します。

SEKAI HOTEL Fuse

大阪府東大阪市近所1-1-1
fuse@sekaihotel.jp

お問合せはこちらから
06-6748-0750

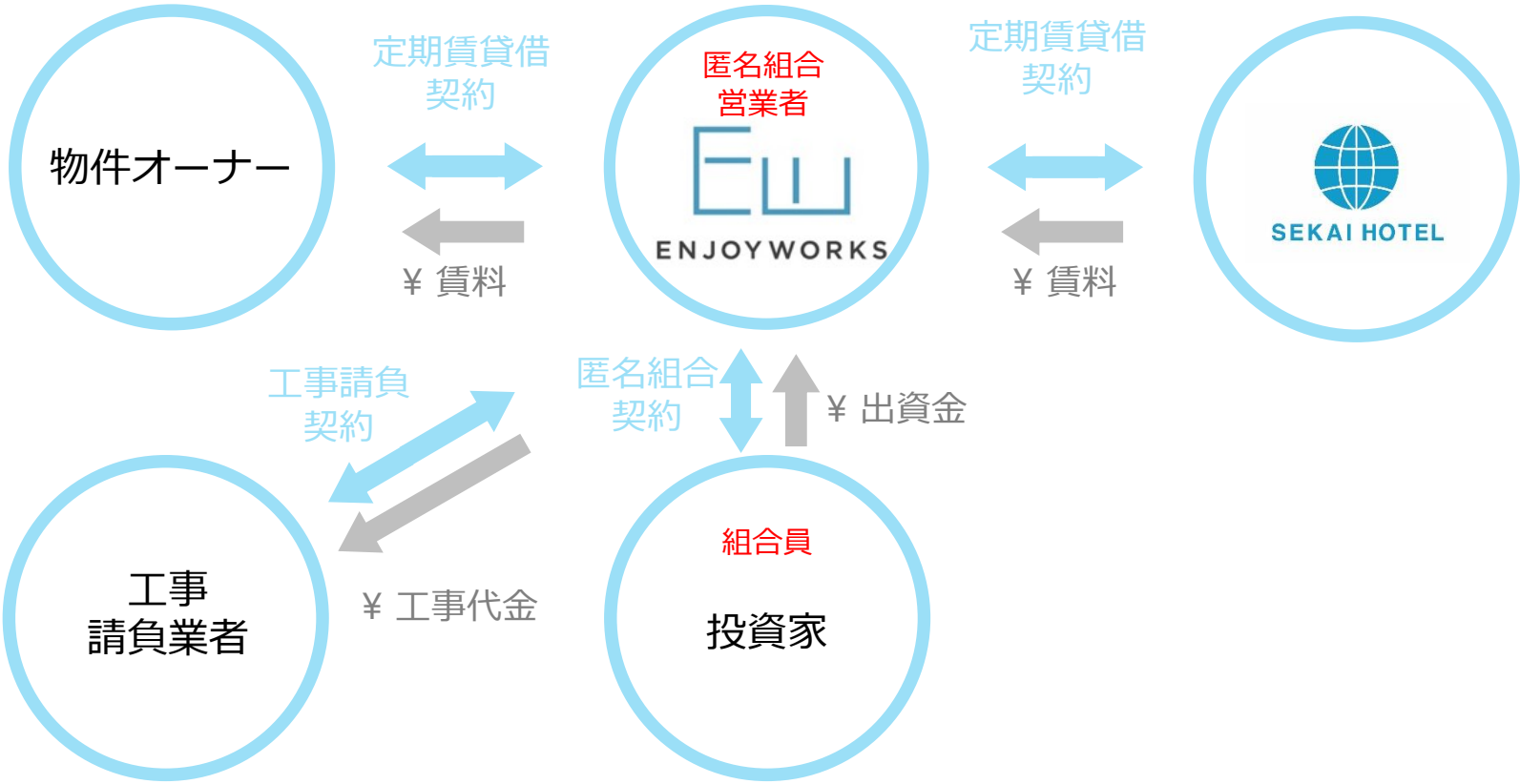
公式サイト

メールフォームから
お問い合わせ

空き家活用の資金調達スキームの構築①

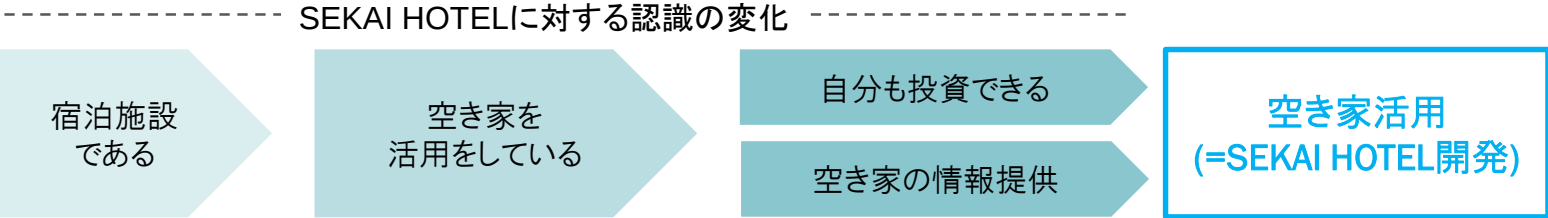
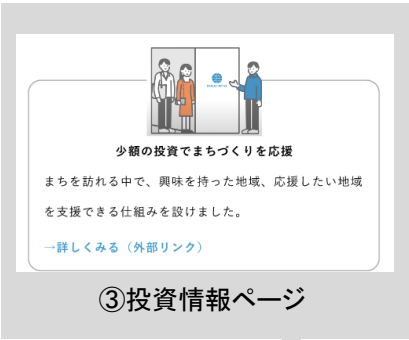
空き家の活用を促進することを目的に、株式会社エンジョイワークスと連携。
空き家活用を目的とした小口での資金調達のスキームを構築した。

小口での資金調達スキーム



空き家活用の資金調達スキームの構築②

SEKAI HOTELを認知している人に向けたイベントの実施を通じて、ファンドへの理解や、自身もまちづくりの一員になれるということを段階的に訴求。



イベントの場において、空き家相談窓口としての認知度向上も狙う。

まちごとホテル利用者に向けた再訪促進施策

空き家問題の根本的原因ともいえる人口減少に対して、交流人口増加を狙った施策を、過去のSEKAI HOTEL利用者に向けて実施。

観光地としては無名の地域に

4,986人が宿泊

顧客推奨意向度(NPS)

40.0と高評価

※2023年実績



課題

- ・継続して空き家について自分事化してもらうことに加え、相談したいと思った際に相談先として想起されるなど認知の質を高める必要がある。
- ・近隣の土地の所有者が特定の個人に集中している。包括的に空き家の利活用を進めるにあたっては所有者との関係構築を進める必要がある。
- ・旅行や遠方の地域を訪れるという消費行動が頻繁に行われるものでなく、短期間での再訪がされにくい。近隣府県の来訪者に対しては再訪を促す一方で、過去のSEKAI HOTEL利用者が他の人に推奨することで新たな来訪者を呼びこむことが重要だと考えられる。

今後の展開

2023年度

- ①空き家相談窓口としての認知拡大
- ②空き家活用の資金調達スキームの構築
- ③まちごとホテル利用者のまちへの再訪促進



2024年度

- ①空き家相談窓口としての認知の質を高める
- ②空き家相談の対応とニーズの把握
- ③空き家活用の資金調達の実施
- ④来訪者の推奨を起点に新規来訪者を増やす